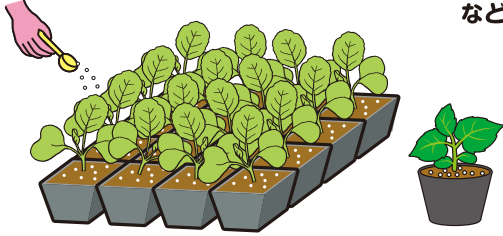


いろいろな場面で使える農家の常備薬!

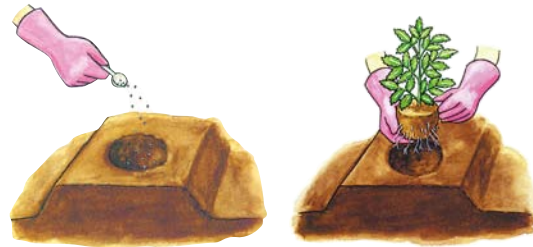
育苗期後半に株元処理

- はくさい ●キャベツ ●レタス ●きゅうり
- ピーマン ●なす ●トマト* ●ミニトマト* など



定植時に植穴処理土壌混和

- はくさい ●キャベツ ●きゅうり ●すいか ●いちご
- ピーマン ●なす ●トマト ●ミニトマト など



鉢上時に株元処理

- トマト*
- ミニトマト*



生育期に株元散布

- ねぎ
- わけぎ ●あさつき
- きゅうり ●メロン
- なす ●トマト など

は種時に

- はくさい ●ねぎ
- だいこん
- キャベツ
- ブロッコリー など

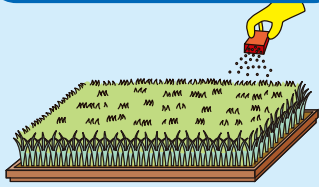
植付時に

- ばれいしょ
- かんしょ
- ねぎ など

*使用時期は「育苗期」



育苗箱処理



アブラムシ類



コナジラミ類



マメハモグリバエ



ミナミキイロアザミウマ



トマトハモグリバエ



ネキリムシ



ハイマダラノメイガ

本田散布

動力散粒機など



生育期株元散布

- 花き類・観葉植物



- アブラムシ類
- アザミウマ類(きく)

株元散布

- かんきつ(苗木)



ミカンハモグリガ



イネミズゾウムシ



イネドロオイムシ



ウンカ類



カメムシ類



ツマグロヨコバイ

ネオニコチノイド系 殺虫剤

ダントツ粒剤

いろいろな作物に使える!!



作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	
はくさい	アブラムシ類、コナガ、アオムシ ハイマダラノメイガ、ネキリムシ類	0.5g/株	育苗期後半	いずれかの 処理で1回	株元処理	
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴処理土壌混和	
	コナガ、アオムシ	2g/株				
	ハイマダラノメイガ	1~2g/株				
かぶ、こまつな しゅんせき ほうれんそう	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝処理土壌混和	
チンゲンサイ	アブラムシ類	6kg/10a	定植時	いずれかの 処理で1回	作条処理土壌混和	
きゅうり	アブラムシ類	1~2g/株	育苗期後半	いずれかの 処理で1回	株元処理	
	コナジラミ類、ミナミキイロアザミウマ	1g/株	定植時		植穴処理土壌混和	
	アブラムシ類、コナジラミ類	1~2g/株				
	ミナミキイロアザミウマ	2g/株				
すいか	アブラムシ類	1~2g/株	定植後 ただし、収穫前日まで	3回以内	株元散布	
	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時	1回	植穴処理土壌混和	
メロン	アブラムシ類	1~2g/株	育苗期後半	いずれかの 処理で1回	植穴処理土壌混和	
	コナジラミ類	1g/株	定植時			
	アブラムシ類	1~2g/株				
	ミナミキイロアザミウマ、トマトハモグリバエ	2g/株				
なす	アブラムシ類	1~2g/株	定植後 ただし、収穫前日まで	3回以内	株元散布	
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期後半	1回	株元処理	
	アブラムシ類、コナジラミ類 マメハモグリバエ	1g/株	定植時	いずれかの 処理で1回	植穴処理土壌混和	
	アブラムシ類	1~2g/株	定植後 ただし、収穫前日まで	3回以内	株元散布	
トマト ミニトマト	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期	いずれかの 処理で1回	株元処理	
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	定植時		植穴処理土壌混和	
	アブラムシ類、コナジラミ類、 ハモグリバエ類	1~2g/株	定植後 ただし、収穫前日まで		3回以内	株元散布
ピーマン	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	いずれかの 処理で1回	株元処理	
	アブラムシ類	1~2g/株	定植時		植穴処理土壌混和	
	アブラムシ類	1g/株	定植後 ただし、収穫前日まで		2回以内	株元散布
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴処理土壌混和	
いちご かぼちゃ だいこん	アブラムシ類	3~6kg/10a	は種時	1回	播溝処理土壌混和	
レタス		*1			セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する	
非結球レタス		0.5g/株	育苗期後半	1回	株元処理	
なばな にがうり		1~2g/株	定植時		植穴処理土壌混和	
ブロッコリー	アブラムシ類、ハイマダラノメイガ	0.25g/株	は種時	いずれかの 処理で1回	セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの覆土に均一に混和する 覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する	
	ネギアザミウマ	*1	育苗期後半		セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する	
	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、ハイマダラノメイガ	0.5g/株				
	アブラムシ類	1~2g/株				
キャベツ	アブラムシ類、ハイマダラノメイガ	0.25g/株	は種時	いずれかの 処理で1回	覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する 播溝処理土壌混和	
	アブラムシ類、ネギアザミウマ	3~6kg/10a	地床育苗期		株元散布	
	アブラムシ類、ネギアザミウマ、コナガ	6kg/10a	育苗期後半		セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する	
	アオムシ、ハイマダラノメイガ	*1				
	ネキリムシ類、コナガ、アオムシ、アブラムシ類 ネギアザミウマ、ハイマダラノメイガ	0.5g/株				
	アブラムシ類、ハイマダラノメイガ	1~2g/株				
セルリー はなっこりー	アブラムシ類	2g/株	定植時	1回	植穴処理土壌混和	
ねぎ	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	6kg/10a	は種時	いずれかの 処理で1回	作条処理土壌混和	
	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ、 タネバエ	6kg/10a	植付時		播溝処理土壌混和	
あさつき わけぎ	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	3~6kg/10a	収穫3日前まで	4回以内	株元散布	
みずな らっきょう	アブラムシ類 ネギアザミウマ	6kg/10a	は種時	1回	播溝処理土壌混和	
さとうきび	アブラムシ類	6kg/10a	収穫21日前まで	2回以内	株元散布	
	ハリガネムシ類	4~6kg/10a	植付時	1回	播溝処理土壌混和	
ぼれいしょ	カンショバネナガカメムシ	6~9kg/10a	培土時	3回以内	株元処理土壌混和	
	アブラムシ類	3~6kg/10a	植付時	1回	播溝処理土壌混和	
かんしょ	アブラムシ類、 トビロヒョウタンゾウムシ	6~9kg/10a	植付前	いずれかの 処理で1回	作条処理土壌混和	
	アブラムシ類	6kg/10a	育苗期		全面処理土壌混和	
れんこん だいず	クワイクヒレアブラムシ	4~6kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	株元処理	
かんきつ(苗木)	アブラムシ類、フタスジハムシ	6kg/10a	は種時	1回	湿水散布	
うり類(漬物用、ただし、 とうがん、食用へちまを除く)	アブラムシ類	1~2g/株	定植時	1回	植穴処理土壌混和	
	とうがん					
	食用へちま	アブラムシ類	6kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	湿水散布
ばら	アブラムシ類	1~2g/株	発生初期	4回以内	生育期株元散布	
	ミカンキイロアザミウマ	2g/株				
	アブラムシ類	6kg/10a				
	マメハモグリバエ、アザミウマ類	2g/株				
花き類・観葉植物 (ばら、さくを除く)	アブラムシ類	6kg/10a				
げっきつ	アブラムシ類	1~2g/株				
稲	アブラムシ類	30~40g/株	収穫7日前まで	3回以内	散布	
	ウンカ類、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ	3kg/10a				
稲(箱育苗)	アブラムシ類	3~4kg/10a	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ)1箱当り50g	1回	育苗箱の苗の上から均一に散布する	

*1:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5~4ℓ)当り50g

⚠ 使用上の注意<抜粋>

- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- マルハナバチを利用する場合、本剤使用後20日目頃より後に導入してください。ただし、影響日数は環境条件により多少変動する場合がありますので注意してください。
- 水稲の本田(3cm前後の湛水とする)及びくわい、れんこんに使用する場合は、田面に均一に散布し散布後4~5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 稲(箱育苗)に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、そのまま植機にかけて移植してください。
 - 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
 - 誤って過剰に使用したり、本剤使用後4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守してください。

- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいわいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。移植後は直ちに入水し、水深2~3cm程度を保ち洗水はさけてください。
- キャベツ、はくさい、かぶ、こまつな、チンゲンサイに使用する場合は、薬害が生じるおそれがあるので使用量を厳守してください。
- キャベツ、はくさいは種時に使用する場合は、薬害が生じる場合があるので覆土後に使用し、覆土前の使用はさけてください。
- 薬剤を株単位で使用する場合は、10a当り25kgを越えないように適用の範囲内で単回使用量を調整してください。
- かんきつに使用する場合は、今期に収穫の見込みのない苗木に使用し、散布後軽く散水してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

